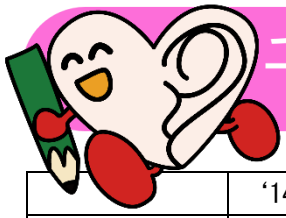


千葉大学 ノートテイク会

	‘14 前期	‘14 後期	‘15 前期	‘15 後期
利用学生	4 年生 1 名	4 年生 1 名	1 年生 2 名	1 年生 2 名
派遣コマ数／週	2	2	**22**	**19**
登録支援学生	13	31	22→30	30→35

急激に派遣コマ数増加！

2 人体制
1 コマ当たりの負荷が大きく、テイクの質にも影響

→

3 人体制
1 コマ当たりの負荷を軽減し、継続的にテイクに入れる環境

×

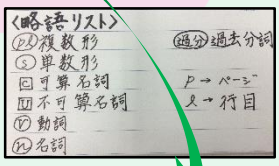
新人育成
1 人当たりのコマ数増を防ぐ

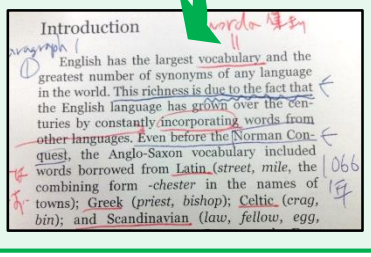
3 人体制の利点
- テイカーの疲労を軽減できる
- 教員の話す速度に追いつける
- 機材トラブルへの対応がしやすい

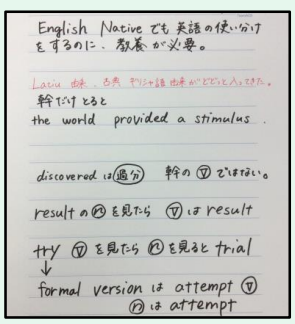
授業形態に応じた多様な 3 人体制
- 3人交替連係入力体制（15分ローテーション）
- 3人同時連係入力体制：教員が早口のとき
- PC手書き併用体制（2人連係入力＋手書き1人）
- 4人体制（PC 3人＋手書き1人）：外国語の授業

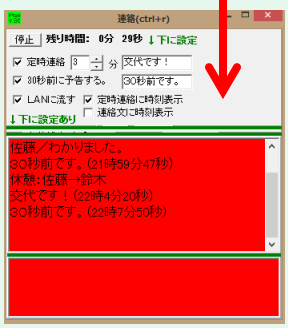
手書きテイク
- 数学、物理、化学、外国語などでは必須
- PCでは打ちづらい数式、図表、横文字への対応
- 教員がプリントや教科書などを読み上げる際は、読み上げ箇所を指し示す
- 補足説明をプリントに直接書き込む

3人体制









新人育成

テイカー検定：数値化しづらい連係入力のスキル確認のために実施。新入生は最短では 2 か月（従来は半年）でデビューが可能に。実際の支援に入るに当たり、実戦的テイクに挑戦し、合格すれば晴れてテイカーの仲間入り！

練習会：学生が主体となって運営、授業に即した実戦的な練習会も開催する。

研修会：有線・無線接続の方法などを学ぶ技術研修会と聴覚障害について学ぶノートテイク研修会がある。

問い合わせ先
千葉大学ノートテイク会
代表：笈沼映見　副代表：桜田泰斗、倉林太郎
Mail：info@ntkai.skr.jp
HP：http://ntkai.skr.jp